

R3 岩船米生育速報(7月29日現在)

高温に対応して出穂直前の葉色が薄い場合は追肥が必要！
出穂前の葉色を確認し、適切な追肥対応で栄養凋落を回避しよう!!

コシヒカリの生育概況

草丈: やや長 茎数: やや多 葉色: 薄い (ほ場間差大)
出穂期: 平年に比べ4~5日程度早い

- 穂肥施用等により、葉色がやや回復したほ場もある。低地力地域等では、葉色が指標値に比べ薄いほ場が多く見られる。
- 梅雨明け後に高温が続き、生育が後ずれして葉色が濃かったほ場や基肥一発施肥体系のほ場でも葉色の低下が見られる。

当面の管理のポイント

- 7/26発表の「高温に関する早期天候情報」では、8/1からかなり高温となり、最高気温が35℃以上の猛暑日になるところもある見込みです。栄養不足(肥切れ)による品質低下(基部未熟粒の増加)を防止するため、**1回目穂肥未実施のほ場は、2回目の時期に必ず穂肥を施用してください。**
- ①2回目の穂肥を実施したほ場でも、葉色の上昇が見られなかったり、上昇しても再度すぐに葉色の低下が見られる場合や、②基肥一発施肥体系のほ場で、葉色が大きく低下して、出穂期の葉色が淡くなると予想される場合は、**出穂期の3日前(走り穂が見られる頃)までに、速効性の化学肥料で追加穂肥(チッソ成分で1kg/10a以内)を施用してください。**
- 地域の用水供給状況に応じて、**出穂25日後頃(収穫2週間前)までは、飽水管理を徹底**して田面を乾かしすぎないように、根の活力維持を図り登熟を向上させましょう。

【コシヒカリ】(*印は基肥一発肥料)

調査場所	田植日	草丈 (cm, %)			茎数 (本/m ² , %)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD値)			調査ほ場の予想出穂期
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差	
山北* (大毎)	5/9	88	104%	104%	453	119%	128%	13.2	1.0	0.8	28.8	-4.7	-2.5	8/4
朝日* (川端)	5/11	95	110%	106%	482	124%	105%	13.8	0.0	0.8	29.6	-2.4	-0.4	8/2
村上* (鋳物師)	5/16	94	111%	109%	477	121%	103%	13.8	1.1	1.2	33.0	0.0	-4.7	8/3
神林 (牛屋)	5/10	88	109%	98%	287	80%	78%	13.0	0.8	-1.0	32.8	-0.7	0.2	8/2
荒川 (名割)	5/14	94	109%	106%	486	128%	128%	13.6	1.1	1.3	31.0	-2.0	-2.5	8/9
関川 (下関)	5/11	87	102%	108%	392	103%	117%	13.2	0.5	0.6	29.6	-3.9	-3.3	8/7
平均	5/11	91	108%	104%	415	109%	108%	13.4	0.6	0.4	31.0	-2.0	-1.5	8/4

○平均は6地点(旧市町村)の、水稲作付面積に応じた加重平均

問い合わせ先: 村上農業普及指導センター

TEL : 0254-52-7930 E-mail : ngt111240@pref.niigata.lg.jp